

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年12月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 三協
所在地	〒231-0003 神奈川県横浜市中区北仲通2丁目14番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 藤木 幸三
担当者連絡先	電話：045-211-1451 (総務課：小島)
	メール：t.kojima@sankyo-corporation.com
ウェブサイトURL	https://www.sankyo-corporation.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>当社は藤木グループの一員として1953年(昭和28年)に創業を開始しました。 京浜港を中心に海外でも事業を展開、港湾物流事業を柱とした国際総合物流企業です。 安全かつ高品質なサービスを提供、社会に貢献するとともに地球環境に配慮した事業活動を推進しております。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境問題への配慮	グリーン経営認証の継続
□環境 ✓社会 □経済	ジェンダーレスな働き方・登用制度の促進	管理職に占める女性の割合を50%に向上
□環境 ✓社会 □経済	働きやすい環境づくり	健康優良企業認定の継続

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	当社企業行動基準に差別の禁止を明記 【予定】社員教育の実施、相談体制を整備					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	当社企業行動基準にハラスメントの禁止を明記 職場におけるハラスメント防止に関する規程の整備 従業員向け研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	時間外労働実績を月次で作成・配信し、改善策を検討・実施								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	中央安全衛生委員会の実施 安全衛生規程を整備 作業マニュアルの整備 安全パトロールの実施 熱中症対策の実施				3				8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックの実施 ストレスチェック制度実施規程の作成 産業医との連携				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	一般事業主行動計画の策定・公表 【予定】管理職に占める女性の割合を50%に向上 育児休業制度の拡充					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	職位別の研修を実施				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	年一回の健康診断を実施 インフルエンザ予防接種の補助 リフレッシュ休暇制度の実施 健康優良企業認定の取得				3				8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	ゴミの分別などの適切な処理の推進 リサイクルコピー用紙の使用 ペーパーレス化の促進										11.6	12.4 12.5	14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	グリーン経営認証の取得(3拠点) クールビズの実施							7.3					13					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	HV車輛の導入促進							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6							15				
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	『環境への取り組み』のホームページによる情報開示											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	水素エンジンカーの社用車導入							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	リサイクルコピー用紙の利用											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	安全作業マニュアルの整備 通関士研修の実施			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	AEO認定通関業者認定取得										9							
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	地域主催の交通安全活動や清掃活動への参加 社会福祉施設への寄付 【予定】災害用トイレトレーラーの寄贈				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	地域企業との積極的な連携									8	9		11	12	13			

